

タブウ (1931)

TABU

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 81分
初公開日 1931/07
公開情報 劇場公開

【解説】
記録映画の巨人フラハティの協力を得て、ドイツ表現主義を代表するムルナウが、ハリウッドに渡った後、自らの作家精神を確認するかのように虚心で作り上げた、南海を舞台にした美しい映像詩。完成後すぐ、ムルナウは自動車事故で急逝、これが遺作となった。職業俳優を排し、現地のポリネシア住民を使い、セミ・ドキュメンタリー・タッチで、厳しい戒律の中に暮らす人々の素朴さを謳いあげる。島一番の美しい娘に恋をした青年。しかし、その仲は部族の最長老の僧侶が、彼女を神に選ばれし禁忌の乙女と指名したことで裂かれてしまう。諦めきれぬ青年は彼女を連れ駆け落ち、遠く離れた港町で真珠採りで生計を立てるが、そこへも追及の手は延び、彼女は再び連れ去られる。青年は泳ぎに泳ぎ（実にダイナミックで秀麗な描写）、遂に彼女を乗せた船にたどり着くのだが……。あざとさは感じさせないのに、いわゆる“モンド映画”の原点とも呼ばれる、フィクションの新しい可能性を示唆した名篇。

【クレジット】
監督 F・W・ムルナウ F.W. Murnau
ロバート・J・フラハティ Robert J. Flaherty
原作 F・W・ムルナウ F.W. Murnau
ロバート・J・フラハティ Robert J. Flaherty
撮影 フロイド・クロスビー Floyd Crosby
音楽 ヒューゴ・リーゼンフェルド Hugo Riesenfeld
出演 マタヒ
レリ
ヒツ
ジェーン
ジュールス